

西脇市消費生活センター

☎22-3111 (防災安全課内)

No.195

「新成人」にまつわる契約トラブルに注意を

成人を迎えると、親権者の同意なく自分の意思でさまざまな契約等ができるようになります。しかし、より一層行動に責任を持たなければなりません。

残念なことに、世の中には悪徳業者がいて、毎年多くの消費者トラブルが発生しています。ただ、悪徳業者はあまり未成年者を狙いません。なぜなら、未成年者の契約には、原則として法定代理人（親権者または後見人）の同意が必要で、同意を得ずに結んだ契約は、取り消すことができるからです。しかし、大人が結んだ契約の場合、未成年者と違って原則、取り消しができません。誕生日を迎えて未成年者から大人に――、たった1日で経験や知識、判断力がきのうまでと変わらないのに、未成年者契約の取り消しができなくなります。

これから、契約機会がたくさんあると思います。不安なときや困ったとき、解決策が分からないときは、西脇市消費生活センターへご相談ください。

なお、今年4月からは満18歳以上が「成人」とみなされます。20歳以下の皆さんも、注意しましょう。

めぐりコラム 33

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線 2031)



西脇市産イチゴは市内各所で販売

1月15日は「イチゴの日」

寒い冬の到来とともに、市内のビニールハウスで育つイチゴは真っ赤に色付き、施設内には甘酸っぱいイチゴの香りが漂います。冬のイチゴは寒さでゆっくり育つため、糖度を蓄えて甘くなり、春に向かって最盛期を迎えます。

イチゴは江戸時代末期にオランダ船によって持ち込まれました。バラ科の多年草で、分類学上は「野菜」。しかし、流通上は果物として扱われることから、メロン・スイカと並んで果実の野菜と呼ばれています。イチゴの果実は表面のつぶつぶを指し、一つ一つに小さな種が入っています。また、栄養価が高く、ビタミンCが1粒でレモン半個分、食物繊維はバナナを上回る量があって、ビタミンB群の葉酸も多く含んでいます。先端部から熟するため、ヘタの部分よりも先端に糖が多く蓄積。ヘタの部分から食べ始めると、最後により甘さを感じることができます。

1月15日は「115(いいイチゴ)」と読む語呂合わせから「イチゴの日」と制定されています。甘くて香り高い、西脇市産のイチゴを味わいませんか。



▲各学校の代表が集まり、読解力指導の実践事例を共有・検討

好きです!! にしわきわたしのふるさと

心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

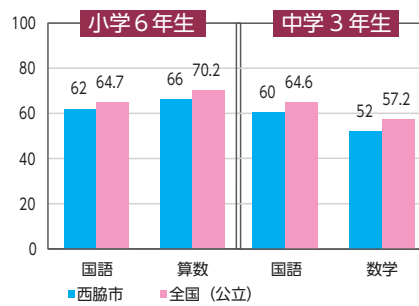
全国学力・学習状況調査 結果が公表 学力の基盤「読解力」育成の取り組み

令和3年5月に小学6年生・中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施し、8月にはその結果が文部科学省から公表されました。市教育委員会では調査直後に独自採点を行い、分析結果を教員と共有して、いち早く学力向上の取り組みを進めています。全国平均値等を参考に、引き続き、学力の基盤となる「読解力」の育成に取り組みます。

全国学力・学習状況調査の結果 「読解力」育成のために

公表された調査結果(左図)によると、西脇市の小中学生の正答率は、いずれの教科も全国平均正答率まで「あと一歩」という状況です。前回調査と比べて全国平均との差が縮まり、市教委が行う「正確に読み取った情報を基に考え表現する『読解力』」向上のための取り組みが、少しずつ成果となって表れてきています。

全国学力・学習状況調査結果 (令和3年度/平均正答率による結果)



さらに、小学6年生には独自に基礎的・汎用的読解力を測る「リーディングスキルテスト」も実施。各校では、結果を基に、基礎となる短文を正確に読む力、主語・述語など文の基本構造を把握する力、「これ・それ」などが何を指すかを理解する力、省略された主語や目的語を理解する力を鍛える授業を行っています。今後、各校の取り組みを「実践事例集」としてまとめて市内全教員で共有し、指導手法を開発していきます。また、西脇市独自の読解力向上指導資料「にしわきパワーアップシート」やタブレット端末も活用し、子どもたち一人一人の読解力向上につなげます。

◆問合せ 学校教育課(市役所内線4021)

心のスケッチ 153 人権教育課コラム パラアスリートを支えた人たち

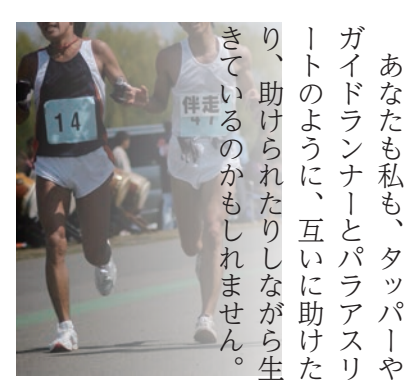
昨年夏に開催された東京パラリンピックでは、パラアスリートが懸命に競技する姿に心を打たれた方が多かったのではないのでしょうか。自国開催ということもあり、これほど毎日テレビで観戦したのは久しぶりでした。人間の限界を超えた集中力や精神力を目の当たりにし、最後まで諦めないことの大切さを改めて学ぶことができました。アスリートの競技や演技も素晴らしいものですが、そのアスリートを支えた人たちの頑張りにも心打たれました。

水泳競技では「タッパー」がアスリートを支えました。タッパーは視覚障害のスイマーが泳ぐときにサポートする人のことで、プールサイドに立ち、タッピング棒を使って選手に合図を送り、ターンやゴールのタイミングを知らせる重要な役割を担います。タッパーの第一人者である寺西真人さんは、タッパーを務める上の大事なことに「信頼関係」を挙げています。選手にとって一番重要なのは、「試合で安定して合図がもらえ、安心して泳げるか」だと話します。

一方、陸上競技では「ガイドランナー」と呼ばれる伴走者の姿が光りました。伴走者は視覚障害がある選手に、コースや距離の状況を伝えながら一緒に走ります。ガイドランナーの一人、大森盛一さんは「伴走で大切なのは、選手にストレスを与えないこと。腕を振るのが選手と逆方向になってはダメです。ストライド(歩幅)は選手と私とではかなり違います。そこもガイドである私が選手に合わせるんです」と言います。

支える人たちは、選手の思いをしつかりと感じ取りながら、心も体も選手に同調させ、共に競技しているのです。

あなたも私も、タッパーやガイドランナーとパラアスリートのように、互いに助けたり、助けられたりしながら生きていくのかもしれない。



西脇市子ども・子育て会議 会議委員を募集



「西脇市子ども・子育て会議」は、西脇市の実情に沿った子ども・子育て支援の施策を総合的に推進する会議です。市民の皆さんのご意見を今後の施策に反映させるため、委員を募集します。

◆会議の主な内容
西脇市の実情に沿った子ども・子育てに関する推進方策などを検討。年2回程度開催

◆応募資格
①市内在住の小学生以下の子どもがいる保護者で、20歳以上の方
②平日に開催する2時間程度の会議に出席できる方
③本市の他の審議会等の委員でない方

◆募集人数
3人

◆任期
令和4年4月から2年間

◆報酬額
1開催につき3,700円
(3時間未満の場合)

◆選考方法
応募書類・面接選考。結果は応募者全員に通知します

◆応募・問合せ
〒677-8511
西脇市下戸田1-28-1
西脇市こども福祉課
(市役所内線1153)
☎23-5219
✉ jidoufukushi@city.nishiwaki.lg.jp

